

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 人とクマの棲み分けを目指したゾーニング管理や県民に対する被害防止対策の普及啓発、担い手の確保・育成など、クマによる被害防止対策の推進が図られる。

指標	指標名	クマによる人身被害者数(人)							指標の種類
	指標式	県内におけるクマによる人身被害者数							成果指標 業績指標
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a			0	0	0	0	0	0
	実績b	16	9	データ等の出典					
	東北	57	57	自然保護課調べ					
全国	157	155							
把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北								
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 人間の活動領域の縮小やクマの生息域拡大に伴い、人里での人身被害や集落・市街地での出没が多発しており被害の拡大が懸念される。本事業は、県内におけるクマ対策の一層の充実を図り被害防止に向けた施策であり必要性は高い。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 県議会議員及び県民(出前講座に参加した地域住民など)から、クマ被害防止対策の強化を望む意見が寄せられている。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

ツキノワグマなど野生鳥獣による被害は全県域で発生していることから、県民の安全安心の確保に資する対策は県が主体的に実施する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	重点事業 其他